## 第14回 放射能の農畜水産物等への 影響についての研究報告会









東京大学大学院農学生命科学研究科

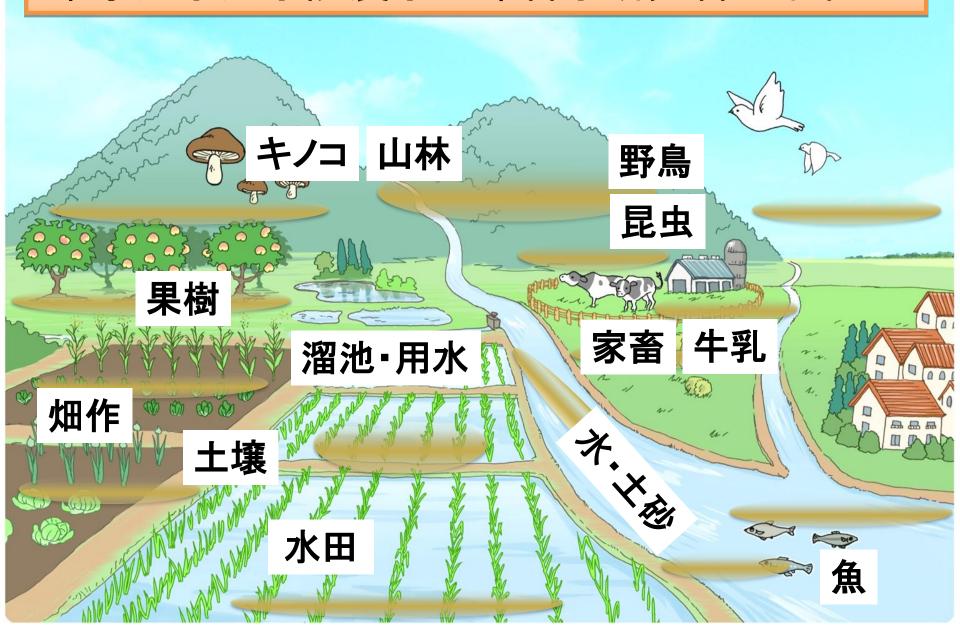
中西友子



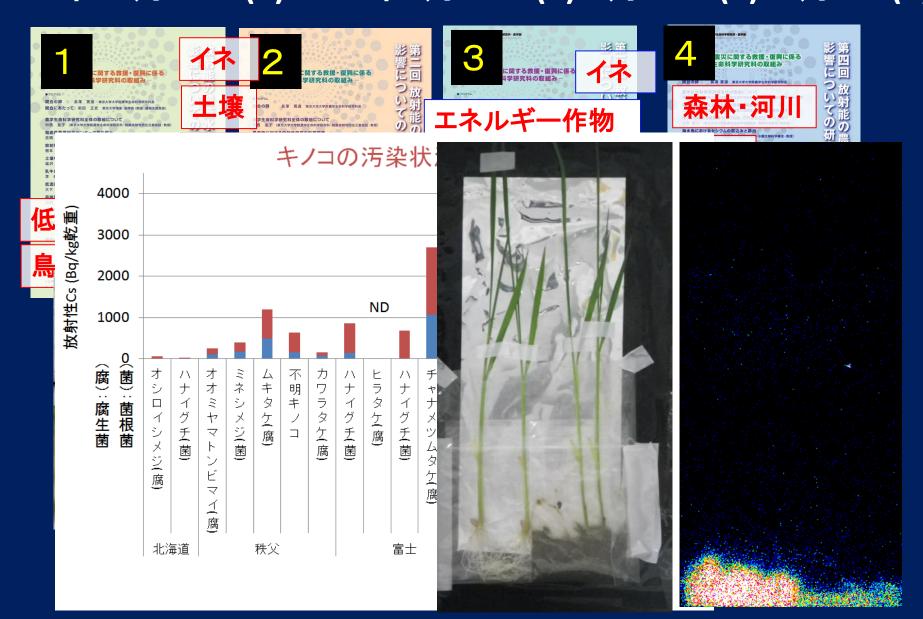




## 東京大学大学院農学生命科学研究科の取組み

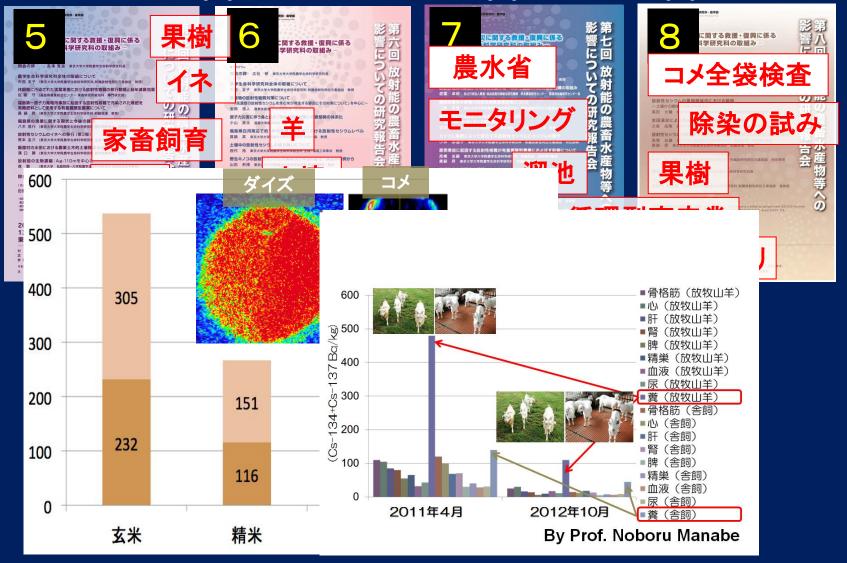


## 農林水産物への影響の報告会 2011年11月19日(1)2012年2月18日(2)5月26日(3)9月8日(4)



## 農林水産物への影響の報告会

2012年12月8日(5) 2013年4月20日(6) 8月10日(7) 12月14日(8)

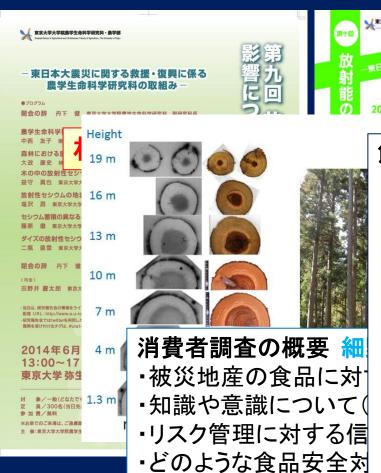


### 農林水産物への影響の報告会

2014年6月14日(9)

11月9日(10)

2015年4月25日(11)



### 東京大学大学院員学生命科学研究科・漫学版 地域 100 日本大阪災に関する教授・復興に係る量学生命科学研究科の取組みー 第10 日本大阪災に関する教授・復興に係る量学生命科学研究科の取組みー 10:30 日 17:00



#### 飯館村

除染に向けた取り組み



M. Mizoguchi & NPO (福島再生の会)

### 農林水産物への影響の報告会

2016年3月26日(12) 2017年1月21日(13) 2017年11月25日

土壌

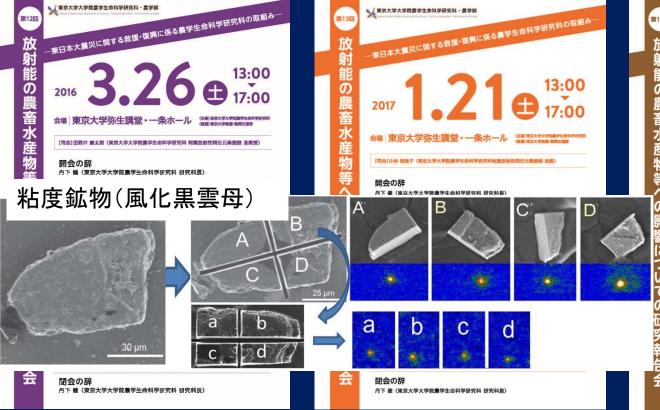
作物

森林

土壌粒子—河川

イネー果樹ー山菜

137Cs流出ーエアロゾル





### 今までの報告会(2011年から6年間)



## 今まて

#### 東京大学

#### ✓ 東京大学大学院農学生命科学研究科・農学部

Graduate School of Agricultural and Life Sciences / Faculty of Agriculture , The University of Tokyo

駒場生の方へ

一般の方へ

English
サイトマップ

サイト内検索



ホーム > 復興支援ブロジェクト

在学生の方へ



入進学希望の方へ

#### 農学生命科学研究科の復興支援プロジェクト

2011年3月11日に発生した東日本大震災および津波、さらにはそれらによって引き起こされた福島第一原子力発電所における燃料棒のメルトダウンおよび水素爆発による多量の放射性物質の飛散・流出によって、人的にも物的にも未曾有の被害を受けた。東北沿岸部は地震・津波により壊滅的被害を受け、国および自治体は新しい街づくりおよび地域諸産業の復興への道筋を模索している。また、福島第一原子力発電所を中心に農地、林地、住宅地、海洋等に放射能汚染が広がっており、高濃度汚染地域では住民の避難を余儀なされており、農畜水産物の放射能汚染は深刻な状況にある。本研究科では、震災直後からさまざまな形で現地の調査および復興支援に関わってきた。一部学生・教職員によるボランティア活動、被災大学からの学生の受け入れ、自治体への支援、放射性物質汚染調査および研究開発等である。あるものは教員個人レベルで、またあるものは組織として本学の復興支援プロジェケルに登録して活動している。今後とも本研究科の教員の専門性を生かした復興支援を行っていく所存である。

#### 農学生命科学研究科の登録プロジェクト

- ▶ 被災地の農林水産・畜産・漁業の支援・復興(2013年1月31日更新)
- ▶ 三陸水産業・漁村・漁港復興に向けた産学官連携支援プロジェクト(2011年9月6日更新)
- ▶ 原発事故による放射性物質被爆原種豚とその子孫の繁殖機能等への影響調査事業(2011年9月5日更新)
- ▶ 牧草中の放射性物質の牛乳への移行緊急調査事業(2011年9月5日更新)
- ▶ 放射性物質汚染と畜産物の安全に関する調査事業(2012年7月10日更新)
- ▶ 東京大学教授・復興支援活動にかかる活動報告リーフレット 農学生命科学研究科分です。ご自由にダウンロードください
- ▶ 東日本大震災に関する救援・復興支援室の登録ブロジェクト

#### イベント

- ▶ 第14回放射能の農畜水産物等への影響についての研究報告会(2017年11月25日開催)NEW
- 第13回放射能の農畜水産物等への影響についての研究報告会(2017年1月21日開催)
- ▶ 第12回放射能の農畜水産物等への影響についての研究報告会(2016年3月26日開催)
- The state of the s
- ▶ 第11回放射能の農畜水産物等への影響についての研究報告会(2015年4月25日開催)
- ▶ 第十回放射能の農畜水産物等への影響についての研究報告会(2014年11月9日開催)
- ▶ 第九回放射能の農畜水産物等への影響についての研究報告会(2014年6月14日開催)
- ▶ 第八回放射能の農畜水産物等への影響についての研究報告会(2013年12月14日開催)
- ▶ 第七回放射能の農畜水産物等への影響についての研究報告会(2013年8月10日開催)
- ▶ 第六回放射能の農畜水産物等への影響についての研究報告会(2013年4月20日開催)
- ▶ 第五回放射能の農畜水産物等への影響についての研究報告会(2012年12月8日開催)
- ▶ 第四回放射能の農畜水産物等への影響についての研究報告会(2012年9月8日開催)
- ▶ 第三回放射能の農畜水産物等への影響についての研究報告会(2012年5月26日開催)
- ▶ JRA畜産振興事業「畜産物」に対する放射性物質の安全に関する調査事業」シンボジウム「東京電力福島 第一原発事故から学ぶ食の安全ー畜産物についてー」(2012年3月24日開催)
- ▶ 第二回放射能の農畜水産物等への影響についての研究報告会(2012年2月18日開催)
  - 放射能の農畜水産物等への影響についての研究報告会(2011年11月19日開催)

研究科長室から

附属施設の紹介

キャンパスガイド

お問い合わせ

研究者の紹介

弥生謹堂 🗇

アグリバイオ

農学資料館

学内共同研究

サイトポリシー

サイトマップ

[6]

中島董一郎記念ホール

農学生命科学図書館 🗆

食の安全研究センター

インフォマティクス 🗇

国際農業開発学コース

アグリコクーン 🗇

専攻・専修などの紹介

概要

2011年3月11日に多

力発電所における燃料

にも物的にも未曾有の

しい街づくりおよび地類

林地、住宅地、海洋等

農畜水産物の放射能活

び復興支援に関わって

体への支援、放射性制

織として本学の復興支

興支援を行っていく所

農学生命科学研究

被災地の農林水産

▶ 三陸水産業・漁村

▶ 原発事故による放

牧草中の放射性

▶ 放射性物質汚染と

▶ 東京大学教援・復

▶ 東日本大震災に引

第14回放射能の

第13回放射能の 第12回放射能の

第11回放射能の 第十回放射能の

第九回放射能の 第八回放射能の

第十回放射能の

第六回放射能の創 第五回放射能の側

第四回放射能の農 第三回放射能の損

▶ JRA畜産振興事業 第一原発事故から

第二回放射能の

放射能の農畜水産

農学生命科学

新)

イベント



入進学希望の方へ

放射能の農畜水産物等への影響 についての研究報告会

東日本大震災に関する救援・復興に係る農学生命科学研究科の取組み-

2011年11月19日(土)13:00~17:00 ホーム > 復興支援ブロ

## 第1回報告会

影響に放射能

つか

東日本大震災に関する教授・復興に係る 重学生命科学研究科の取組み

#### プログラム





開会の辞 [動画] 長澤 寛道 東京大学大学院農学生命科学研究科長

開会にあたって [動画]

前田 正史 東京大学理事・副学長(救援・復興支援室長)

農学生命科学研究科全体の取組について [要旨] [動画]

中西 友子(東京大学大学院農学生命科学研究科・附属放射性同位元素施設・教 授)

#### 福島県農業総合センターの取り組み [動画]

吉岡 邦雄(福島県農業総合センター生産環境部・部長)

放射性セシウムのイネへの移行 [要旨] [動画] [スライド]

根本 圭介(東京大学大学院農学生命科学研究科・生産・環境生物学専攻・教授)

十壌中の放射性セシウムの挙動 [要旨] [動画] [スライド]

塩沢 昌(東京大学大学院農学生命科学研究科・生物・環境工学専攻・教授)

乳牛における放射性セシウムの動態 [要旨] [動画] [スライド]

李 俊佑 (東京大学大学院農学生命科学研究科・附属牧場・助教)

低濃度汚染土壌における野菜への放射性核種の移行 [要旨] [動画]

大下 誠一 (東京大学大学院農学生命科学研究科・生物・環境工学専攻・教授)

高線量地帯周辺における野生動物の生態・被曝モニタリング [要旨] [動画]

石田 健(東京大学大学院農学生命科学研究科・フィールド支援担当・准教授)

魚貝類の汚染 [要旨] [動画]

潮 秀樹 (東京大学大学院農学生命科学研究科・水圏生物科学専攻・准教授)

農学生命科学研究科で取り組んでいるその他の成果 [要旨] [動画] [スライド]

田野井 慶太朗(東京大学大学院農学生命科学研究科・生物生産工学研究センター・助教)

#### 閉会の辞 [動画]

長澤 實道 東京大学大学院農学生命科学研究科長





研究科長室から 概要

専攻・専修などの紹介

附属施設の紹介

お問い合わせ

中島董一郎記念ホール

**農学生命科学図書館** 

インフォマティクス 同

アグリコクーン 🗇

農学資料館

学内共同研究

サイトマップ

キャンパスガイド

研究者の紹介 弥生講堂 🗇

食の安全研究センター

アグリバイオ

国際農業開発学コース

サイトポリシー





### 放射能の農畜水産物等への影響 についての研究報告会

ー東日本大震災に関する救援・復興に係る農学生命科学研究科の取組みー

## 資料集 2011 2016



東京大学大学院農学生命科学研究科

Graduate School of Agricultural and Life Sciences / Faculty of Agriculture, The University of Tokyo

(第1回-第12回)

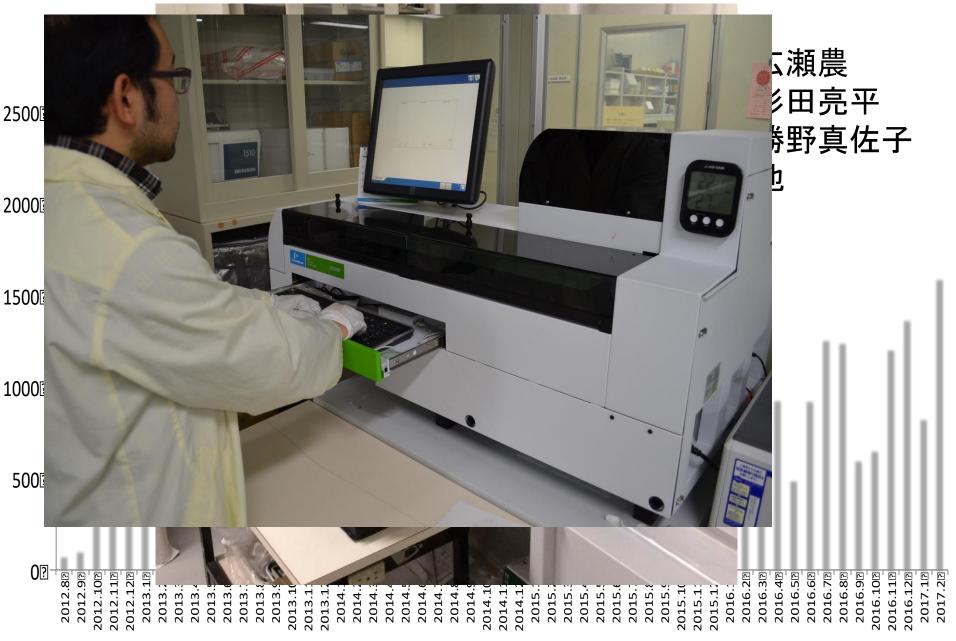
		3
はじめ	δE	E
第1回	g 2011年11月19日	3
第2回	12012年2月18日	33
第3回	2012年5月26日	57
第4回	2012年9月8日	81
第5回	2012年12月0日	10
第6回	2013年4月20日	2
	2013年8月10日	
	2013年12月14日 ]	
	2014年6月14日 ]	99
	2014年11月9日 2	23
	2015年4月25日	63
120	2016年3月26日	99
わりに		35

# 第1回2011.11.19

	開会の辞	
	長澤 寛道	
1-1	農学生命科学研究科全体の取組みについて	0
	中西 友子	6
	福島県農業総合センターの取り組み 吉岡 邦雄	
1-2	放射性セシウムのイネへの移行	0
	根本主介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
1-3	土壌中の放射性セシウムの挙動	7.
	塩澤昌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1.
1-4	乳牛における放射性セシウムの動態	1.
	李 俊佑	10
1-5	低濃度汚染土壌における野菜への放射性核種の移行	
	大下誠一	18
1-6	高線量地帯周辺における野生動物の生態・被曝モニタリンク	
	石田健	21
1-7	魚貝類の汚染	
	瀬秀樹	25
1-8	農学生命科学研究科で取り組んでいるその他の成果	
	田野井 慶太朗	27
	閉会の辞	
	長澤 寛道	



## 液体シンチレーション検出器測定試料数



### 2013年4月出版

ダウンロードは無料(50ユーロ/冊)

Graduate School of Agricultural and Life Sciences The University of Tokyo



Tomoko M. Nakanishi Keitaro Tanoi Editors

Agricultural Implications of the Fukushim Accident

**②** Springer Open

[内容] はじめに(長澤)、緒言(中西)

1章 農学部の取り組み(中西)

2章 コムギなどイメージング(田野井)

3章 イネ栽培(根本)

4章 イネ品種間差(藤原)

イネのCs吸じ

、(大下)

動物(真鍋)

魚肉加工過程(渡部)

11章 魚のCs排出(金子)

12章 鳥類(石田)

13章 土壌の除染(溝口)

14章 果樹(高田)

15章 キノコ(山田)

16章 環境中のCs動態(大手)

17章 サイエンスコミュニケーション(細野)

(敬称略、以後も)

## 2冊目の出版 2016年2月 電子版出版

Tomoko M. Nakanishi · Keitaro Tanoi Editors

Agricultural Implications of the Fukush Nuclear Accident

The First Three Years





はじめに(古谷)、緒言(中西) 農学部の取り組み(中西) 福島産農産物モニタリング(二瓶) 3章 福島産玄米検査(二瓶) 4章 福島生育イネのCs蓄積変化(藤原) 5章 イネのKによるCs量低減効果(小林) 6章 除染後のイネグ 7章 8章 ンシの汚染(田野井) <u>ょ</u>生動物の汚染(石田) 果樹の汚染(高田) 12章 汚染が林業に与える影響(三浦) マツとスギの除染(益守他) 13章 森林汚染動態(大手他) 14章 水田の空間線量率低減(久保他) 15章 16章 復興の協力体制例(横川他) 漁業再生の試行(八木) 17章 18章 消費者の食品評価(細野他) 植物・土壌中のCsイメージング(杉田他) 19章

フクシマの放射性物質のゆくえ

### 中西友子

Nakanishi Tomoko





1208

フクシマの放射性物質のゆくえ





ISBN978-4-14-091208-9 C1361 ¥950E

定価: 本体950円 +税



NHK出版 (刊)



## **シウムは** ベテったのか

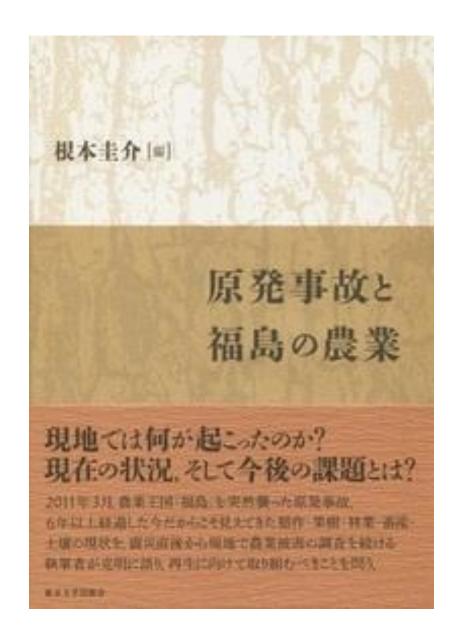
綿密な計測が明らかにした汚染の実態とは?

NHKブックス 時代の半歩先を読む

NHK フックス 1208

福島原発事故による 未曾有の放射性物質の飛散。 東大農学部の科学者たちが一丸となり、 土壌汚染の実態を明らかにした。 その全容を正確かつ平易にまとめ上げた、 またとない一冊!

> 2001年度ノーベル化学賞受賞者 野依良治



これからも継続的に現場に資する 調査研究・教育活動 を続けていこうと思っております。

宜しくお願いいたします。